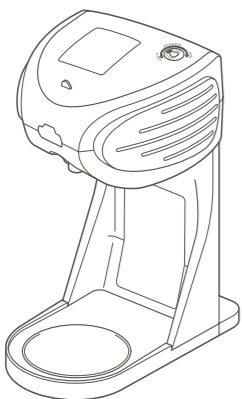


ノータッチでサッと消毒

Alsat

AL10 自動手指消毒器「アルサット」



取扱説明書

このたびは、自動手指消毒器「アルサット」AL10をお買い上げいただき、ありがとうございます。本書は「アルサット」AL10の使いかたを説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。「アルサット」AL10を本書とともに未永くご愛用いただけますよう、心からお願ひ申し上げます。なお、本製品には保証書が同梱されています(保証書は本書の裏面にあります)。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

※本書の内容は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
 ※製品改良の為、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
 ※本書の内容の一部または全部を無断で転載することはおやめください。
 ※キングジム、KING JIM、Alsat、アルサットはいずれも株式会社キングジムの日本及び他の国における登録商標または商標です。

安全上のご注意

必ずお守りください！

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。本体をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

●表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合を、次のように説明しています。

危険 この表示を守らずに、誤った使い方をすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。

警告 この表示を守らずに、誤った使い方をすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。

注意 この表示を守らずに、誤った使い方をすると、「障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

表示は、してはいけない「禁止」内容です。

表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

危険 本製品はアルコールを使用しますので、火気は絶対に近づけないでください。やけど・破裂・発火・火災の原因となります。

消毒後の濡れた手を火気に絶対に近づけないでください。やけど・火災の原因となります。

本体を高温になる場所(火のそば、ストーブ、炎天下)、換気のできない場所での使用や放置、保管をしないでください。破裂・発火・火災の原因となります。

本体を分解、改造しないでください。破裂・発火・火災・発熱・感電・けがの原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。

安全上のご注意

電池の液をなめた場合には、すぐうがいをして医師に相談してください。

電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こす可能性がありますので、すぐに多量の水水道水などのきれいな水で洗い流してください。

長期間この製品を使わない場合は、本体から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより電池を漏液、発熱、破裂や本体を破損させるおそれがあります。

新しい電池と使用した古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池が漏液、発熱、破裂したり怪我や機械故障の原因になります。

使い切った電池はすぐに本体から取り出してください。使い切った電池を本体に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池の漏液、発熱、破裂させたり、本体を破損させるおそれがあります。

電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意事項にしたがって正しく使用してください。

注意

本体の上に物を乗せたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本体を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをするおそれがあります。

本体を壁付け以外でご使用される際は、必ず補助板をスタンドに取り付けてください。

その他のご注意

本体の使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。

長期間使わないときは、乾電池を本体から取りはずし、消毒液を取りだしてください。

本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。

取扱説明書に記載された内容・仕様・デザインなどは予告なく変更されることがあります。

おもな仕様

■電源、その他	
主電源	単3形アルカリ乾電池×4本(別売)
電源	フタロック時：ON / ロック解除時：OFF
タンク容量	約350ml
寸法・重量	約W172×D163×H304(mm)(補助板を除く) 約670g(消毒液、乾電池を除く)
同梱品	アルサット本体、底板、受け皿、背板、補助板、専用鍵、壁取り付け用ねじ、樹脂製プラグ、取扱説明書/保証書

■使用条件	
温度環境作動時	10℃～35℃
湿度環境作動時	30%～80%(非結露)

アフターサービスについて

■お問い合わせ
 アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、「アルサット」取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル(全国共通) ナットクのパートナー
お客様相談室 ☎0120-79-8107

FAX からの場合 **0120-79-8102**
 携帯電話からの場合 **0570-06-4759** ※通話料お客様負担
 受付時間:平日(月～金曜日)午前9:00～午後5:30

株式会社キングジム

東京都千代田区東神田二丁目10番18号
 〒101-0031
<http://www.kingjim.co.jp/>

■最新情報については
 「アルサット」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp/>

■修理に出されるときは
 保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本体と保証書をお買い上げ販売店、または「アルサット」取扱店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店、または「アルサット」取扱店までお持ちください。

Alsat 取扱説明書
 2012年10月 第4版

株式会社キングジム

東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031
<http://www.kingjim.co.jp/>

安全上のご注意

警告

本製品は液体タイプの手指消毒液専用です。液体タイプの手指専用消毒液以外の液体は使用できませんので絶対に投入しないでください。事故や故障の原因となります。

特にジェルタイプの手指用消毒は使用しないでください。本体への目詰まりの可能性があり事故や故障の原因となります。

本製品は、幼児や子供だけの使用や動物への使用はしないでください。事故やけがの原因となります。

センサー部をのぞきこむとセンサーが作動し消毒液が噴射されますので、センサー部に顔を近づけないでください。万が一、目に入った場合は、すぐに流水で洗い流し、その後、医師の診察を受けてください。

本製品に水や薬液をかけないでください。漏電による感電や火災故障の原因となります。

本体を踏んだり、落としたり、叩いたりなど強い衝撃を与えないでください。強い衝撃を与えると本体が破損することがあり火災や・感電の原因となります。

消毒液を補給する場合は、タンクから消毒液のあふれ、こぼれに注意してください。床や壁に消毒液が付着した場合、すぐにふき取ってください。

消毒液を補給する場合は必ず本体の電源を切ってから消毒液を補給してください。本体を移動・運搬する場合、消毒液を完全に抜き取ってから行ってください。事故やけがの原因となります。

消毒液は絶対に飲まないでください。健康を害する恐れがあります。

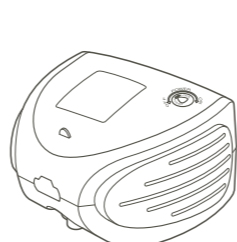
消毒液の取扱いについては、消毒液の説明内容を守ってください。

電池の取扱いについて

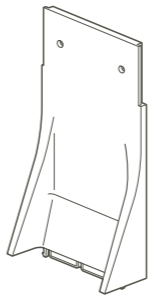
電池は単3形アルカリ乾電池を使用し、他の電池は使用しないでください。また、電池の＋－を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起したりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

安全上のご注意

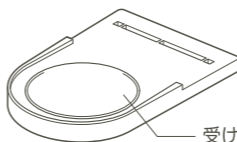
同梱品の確認



アルサット本体

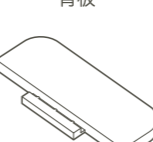


背板



底板

受け皿



補助板



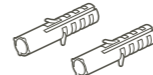
専用鍵×2個



壁取り付け用ねじ×2本



取扱説明書/保証書(本書)

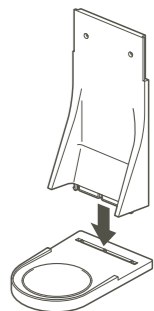


樹脂製プラグ×2個

本体の組み立てかた

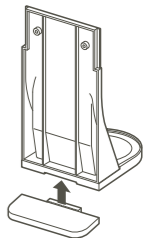
1. 底板に背板を差し込む。

注意 ・底板に背板を差し込むと取り外すことはできません。
 ・底板に受け皿がセットされていることを確認してください。

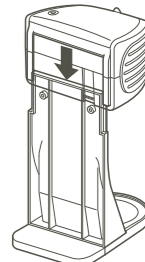


2. 底板に、補助板を差し込む。

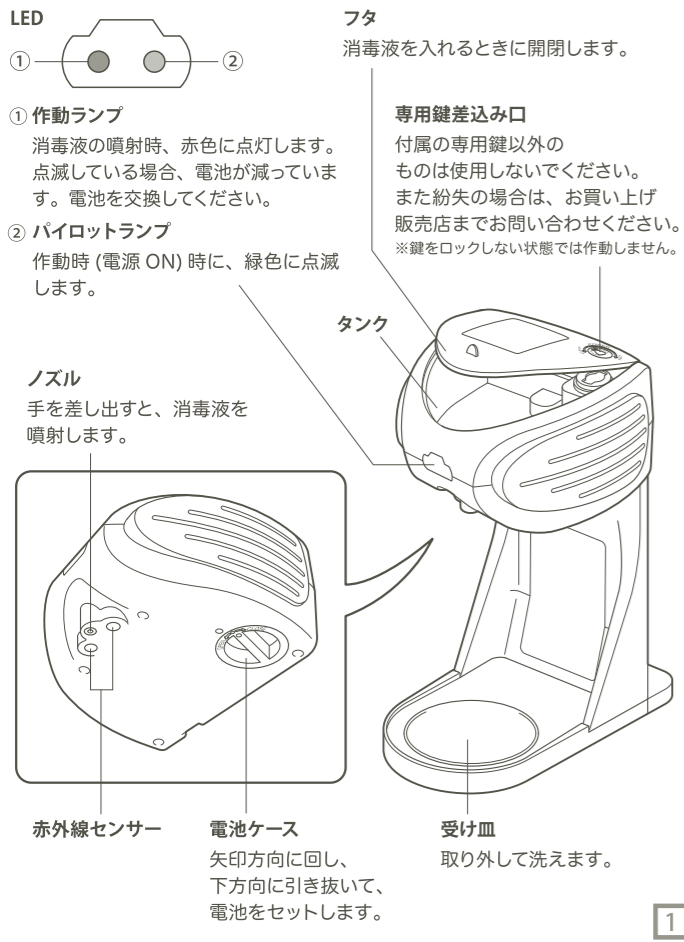
転倒防止のため、設置して使用する場合は、必ず補助板をセットして使用してください。本体を壁に取り付けて使用する場合は、補助板は必要ありません。



3. 背板に、アルサット本体を差し込む。

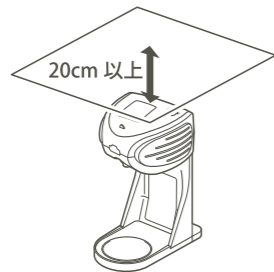


各部の名称とはたらき



設置のしかた

- ・水平な場所に設置してください。
- ・消毒液を入れる際、フタを閉鎖するので、本体の上部は 20cm 以上のスペースをあけて設置してください。
- ・火気や火花の出る恐れのある場所には、絶対に設置しないでください。
- ・本体に水がかからないように設置してください。
- ・設置して使用する場合は、必ず転倒防止のための補助板を取り付けて使用してください。
- ・本体は屋内に設置してください。



壁への取り付けかた

- ・消毒液を入れるためのフタを開け閉めするため、本体の上は 20cm 以上のスペースをあけて設置してください。
- ・火気や火花の出る場所には絶対に設置しないでください。
- ・本体に水がかからないように設置してください。
- ・本体は屋内に設置してください。

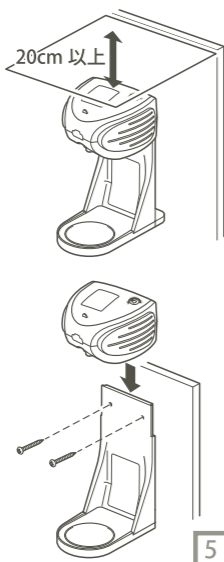
1. 補助板を取り外す。

2. 背板を壁に当て、穴(ニカ所)を使って、ネジで壁に背板をしっかりと固定する。

注意・スタンドが水平になるように設置してください。丈夫な壁に取り付けてください。

3. スタンドを壁にネジ止め後に、アルサット本体を上部より差し込む。

注意・壁の素材によっては、付属の樹脂製プラグ(アンカー)を併せて使用してください。



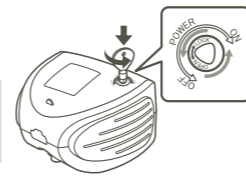
乾電池のセット方法

アルサットは、単 3 形アルカリ乾電池 4 本 (別売) で作動します。ご使用になる前に、乾電池をセットしてください。

注意：本体は単 3 形アルカリ乾電池専用です。充電電池等は使用できません。

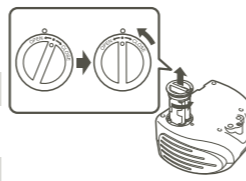
1. 本体上部の鍵穴に専用鍵を差し込み、矢印の方向に回してロックを解除する。

注意・安全のため、ロックを解除しないと、電池ボックスを取り外せなくなっています。
・付属の専用鍵以外のものは使用しないでください。



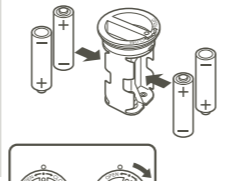
2. 本体下部の電池ボックスを矢印の方向に回し、引き抜く。

注意・薬液を入れたままで裏返さないでください。



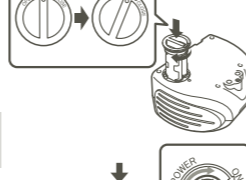
3. 電池ボックスに電池をセットする。

注意・+ と - の向きに気をつけて、正しくセットしてください。
・長期間使用しないときは、乾電池を取り外しておいてください。
・新しい乾電池と使用済みの乾電池、または種類の異なる乾電池を混ぜて使用しないでください。
・古くなった電池は各地域指定の方法に従って廃棄してください。

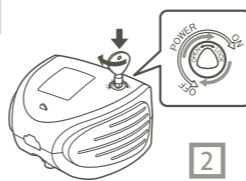


4. 電池ボックスの○印を本体の●印に合わせて本体に差し込み、矢印の方向に回してロックする。

注意・電池ボックスをセットする際は、指をはさまないようにご注意ください。



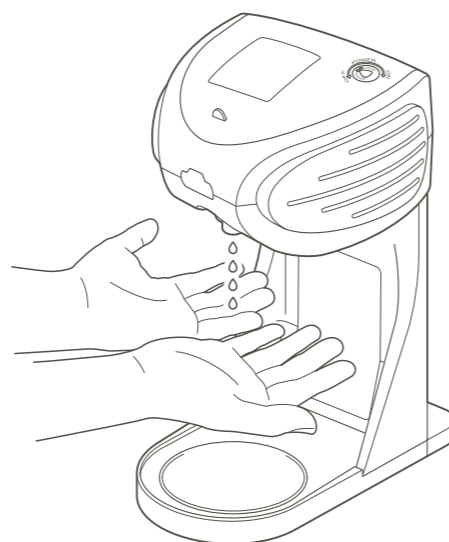
5. 鍵穴に専用鍵を差し込み、矢印の方向に「ON」の位置まで回してロックをする。



手の消毒のしかた

本体の下に手を差し出すと、赤外線センサーが手を感じし、一回分の消毒液が噴射されます。消毒液を追加したい場合は、一度、手を赤外線センサーの下から抜いて、もう一度手を差し出してください。

噴射された消毒液を、指先や指と指のあいだにすり込み、もみ込むようにしてください。消毒液が乾けば、消毒が完了です。

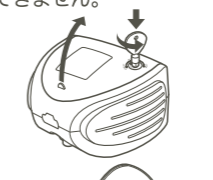


消毒液の入れかた

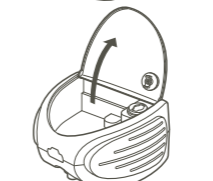
消毒液は、アルコール系液体タイプのものを使用してください。ジェルタイプのは、ノズルが詰まってしまうため、使用できません。

1. 専用鍵を差し込み、矢印の方向に回してロックを解除する。

注意・安全のため、ロックを解除しないと、本体のフタを開けられないようになっています。付属の専用鍵以外のものは使用しないでください。

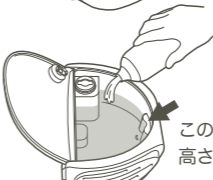


2. フタを開ける。



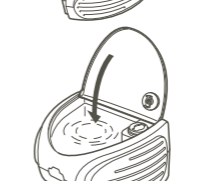
3. タンクに消毒液を入れる。(350ml)

注意・消毒液の量は、本体内部の突起を越えないようにしてください。



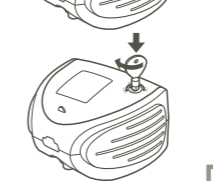
4. フタを閉める。

注意・本体フタを閉める際は、指をはさまないようにご注意ください。



5. 専用鍵を差し込み、矢印の方向に回してロックする。ロック後、専用鍵を抜く。

注意・専用鍵は大切に保管し、紛失しないようにしてください。



お手入れについて

・製品の安全や性能を保つため、定期点検・清掃作業を行ってください、また長期間使用していない消毒液は、新しいものと入れ替えてご利用ください。

・ノズルのつまりを防ぐために、1 ヶ月に 1 回タンク内の消毒液を捨て、ぬるま湯を入れて 10 回程度噴射させ内部を洗浄することをお勧めします。その後、きれいな布でタンク内の水分を取り除き、消毒液を入れてください。(熱湯での噴射は火傷しますので、絶対にお止めください。)

※手指消毒液を追加した直後の噴射液は、本体に残ったぬるま湯が出る場合があります。数回噴射させると、手指消毒液が噴射されます。

・お手入れを行う際は、必ず専用鍵を使って電源を切ってから行ってください。電源を切るには、本体に専用鍵を差し込み、矢印の方向に回してロックを解除します。

・本体は水洗いしないでください。汚れた場合、清潔な布でふき取ってください。

・受け皿は取り外して水洗いできます。汚れた場合は本体から取り外し、水洗いしたあと、清潔な布でふき取ってから取り付けてください。

・受け皿は本体を持ち上げて、受け皿の底を押し上げると外せます。水洗いしたあとは、元の位置にはめてください。

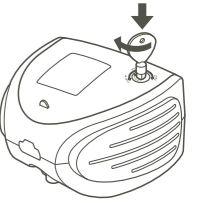
・保管の際は、乾電池を本体から取り外し、消毒液を取り出してください。



電源の入れかた / 切りかた

専用鍵を差し込み、矢印の方向に回してフタをロックすると、電源が入ります。作動時は、本体正面の LED 表示のうち、向かって右側が緑色に点滅します。

逆方向に回すと、ロックが解除され、電源が切れます。

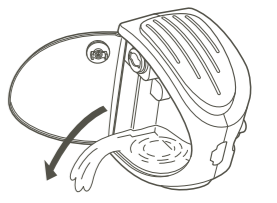


消毒液を捨てる場合

消毒液を捨てる場合は消毒液廃棄の注意に準じて廃棄してください。

LED 表示部分や電池ボックスに消毒液がかからないよう、本体を傾け、向かって左側のフタの付け根部分から、消毒液を流してください。

注意・消毒液の詳しい廃棄方法については、ご使用中の消毒液メーカーにご確認ください。



故障かな?と思ったら

噴射しない	手が赤外線センサーの感知部に入っていないかもしれません。赤外線センサーの下から一度手を抜き、位置を変えてみてください。
	消毒液が入っているか確認してください。消毒液は、液体タイプのものを使用してください。ジェルタイプのものは、噴射部が詰まってしまうため、使用できません。
	一度噴射すると、赤外線センサーに手をかざしたままでは、続けて噴射しません。赤外線センサーの下から一度手を抜き、もう一度、赤外線センサーにかざしてください。
	電池が入っているか、消耗していないか、またセットする方向が間違っていないか確認してください。本体正面の LED 部を確認し、向かって左側の赤い LED が点滅している場合は、電池を交換してください。
	本体のフタがロックされていないと、噴射しません。本体正面の LED 部を確認し、向かって右側の緑色の LED が点滅していない場合は、専用鍵を差し込んで回し、フタをロックしてください。
	赤外線センサー部分が汚れているのかもしれません。本体の電源を切ったうえで乾いた布で拭いてから、もう一度行ってください。
電源が入らない / LED ランプが点かない	本体のフタがロックされていないと、電源が入りません。本体正面の LED 部を確認し、向かって右側の緑色の LED が点滅していない場合は、専用鍵を差し込んで回し、フタをロックしてください。
	電池が入っているか、切れていないか、またセットする方向が間違っていないか確認してください。本体正面の LED 部を確認し、向かって左側の赤い LED が点滅している場合は、電池を交換してください。